

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子育て・子育て支援事業の進捗状況【平成27年度】

7 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

事業概要	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡及び調整等を行う事業
事業目的 (目指すべき目標)	より円滑な援助活動が行えるように会員相互の連絡、調整を行う。子育て中の家庭に本事業の周知を図っていくとともに、保護者の希望に沿った援助活動が行えるよう提供会員の確保に努める。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	市ホームページのほか、親子が利用する施設や公共施設等にチラシを設置するなど引き続き事業の周知を行う。また、親子が集うイベント等にも参加し、制度の仕組みを直接説明するなどコミュニケーションを図りながら一層の周知に努める。提供会員については、年2回の講習会を継続して実施し、広報誌や新聞等を活用するほか、ボランティア活動を行っている現場に直接出向きPRを行い、提供会員の確保に努める。

事業費(円)		平成27年度 予算	平成27年度 決算	平成28年度 予算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費	6,166,000	6,057,656	6,224,000			
	特定財源						
	国庫支出金	1,986,000	1,986,000	1,986,000			
	道支出金	1,986,000	1,786,000	1,986,000			
	その他						
	一般財源	2,194,000	2,285,656	2,252,000			

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	提供会員養成講習会修了者数	人	18	16	16	16	15
	提供会員養成講習会開催数	回	2	2	2	2	2
	チラシ設置依頼数	か所	109	109	109	109	109
【特記事項】							

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	提供会員数(年度末)	人	137	153	169	185	200
	両方会員数(年度末)	人	32	32	32	32	32
【特記事項】		参考:平成27年度末の依頼会員(利用会員)318人					

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:延べ利用人数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	需要量の見込み(人)	740	740	740	740	740
	確保方策(人)	740	740	740	740	740
	実績(人)	587				

【事業評価】
A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。
C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。

事業実施者による事業評価	A				
小樽市子ども・子育て会議における事業評価	A				

<確保方策>
事業計画から抜粋
今後、より円滑な援助活動の推進及び提供会員の更なる増加に向けて、「提供会員養成講習会」開催などを継続しつつ、取り組みます。
また、利用会員の利用状況や意識の把握に努め、利用者ニーズにできるだけ対応できるよう事業の在り方を必要に応じて、検討します。

◆平成27年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)

平成27年度は、提供会員養成講習会(6日間、24.5時間)を6月と11月の2回開催し、18人が修了し提供会員として登録した。援助の利用件数は587件で、依頼に対して援助活動の連絡、調整は適切に実施できており、事業目的は達成した。提供会員の高齢化もあることから、新たな提供会員の確保が必要である。制度の周知を行いながら、提供会員養成講習会についても様々な手法でPRを行う必要がある。

◆平成28年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)

平成28年度も、提供会員養成講習会を2回開催し、提供会員の増加に努める。周知のための施設等にチラシ設置を引き続き依頼するとともに、講習会開催については、市ホームページや市フェイスブック、広報おたるのほか新聞各社にも記事掲載を依頼していく。また、市フェイスブックを更に活用し、講習会の様子を伝えていく。